

# ミナミキイロアザミウマ情報第2号（ナス・キュウリ）

令和7年12月3日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

ナスほ場で発生が目立ちます。発生状況に注意しましょう！

## 1 発生状況

11月下旬に実施した巡回調査の結果、ナスにおけるミナミキイロアザミウマ（図1）の寄生葉率が6.30%（平年4.01%、前年3.90%）で、過去10年と比較して2番目に高い状況でした。

キュウリにおける寄生葉率は0.13%（平年0.54%、前年0.25%）で、過去10年と比較し5番目で平年並の状況でした。

しかし、本種の媒介により発病するキュウリ黄化えそ病（図2）の発病株率は0.13%（平年0.19%、前年0.13%）で、過去10年と比較して3番目に高い状況でした。



図1 ミナミキイロアザミウマ成虫



図2 キュウリ黄化えそ病発病葉

## 2 防除対策

- （1）本種の発生を認めたら、表を参考にして、密度の低いうちに防除しましょう。
- （2）本種は、薬剤感受性が低下しやすいので、同一系統（表のIRACコード参照）の薬剤の連用は避けましょう。また、天敵や訪花昆虫を導入しているほ場では、それらへの影響に注意して薬剤を選定しましょう。
- （3）青色の粘着板などを利用して発生状況をよく観察し、早期発見に努めましょう。  
また天敵を積極的に活用しましょう。
- （4）ミナミキイロアザミウマにより媒介されるキュウリ黄化えそ病の発病株は、伝染源となるため見つけ次第除去しましょう。

表 ミナミキイロアザミウマに対する主な防除薬剤

作物名	適用害虫名	農薬名	使用時期	本剤の 使用回数	IRAC コード
なす	アザミウマ類	ファインセーブプロアブル	収穫前日まで	3回以内	34
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	4A
		アファーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	6
		グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	30
ミナミキイロ アザミウマ	コテツプロアブル		収穫前日まで	4回以内	13
		ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A
きゅうり	アザミウマ類	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	28
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	4A
		アグリメック	収穫前日まで	2回以内	6
		ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A
	コテツプロアブル		収穫前日まで	3回以内	13

IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRAC コードの詳細は、

[https://www.croplifejapan.org/assets/file/lab0/mechanism/2025/mechanism\\_irac03.pdf](https://www.croplifejapan.org/assets/file/lab0/mechanism/2025/mechanism_irac03.pdf)  
を参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。